

乳癌内分泌療法関連骨粗鬆症に対するリエゾンに関する検討

1. 研究の対象

当院で2021年1月から10月にエストロゲンを低下させる内分泌療法を行い、骨粗鬆症リエゾン外来を受診した乳がんの患者さん

2. 研究目的・方法

ホルモン受容体陽性乳がんに対してエストロゲンというホルモンを低下させるお薬を用いて治療する内分泌療法に関連して、骨粗鬆症の発生頻度が高まることが知られています。骨粗鬆症予防と治療に関する最適の治療計画を作成するために、当院で2021年1月から10月にエストロゲンを低下させる内分泌療法を行い、骨粗鬆症リエゾン外来を受診した乳がんの患者さんの診療経過と検査結果を電子カルテの診療録を参照にし、当院で行っている内分泌療法に関連した骨粗鬆症の予防と治療の効果と問題点を検討することを目的としています。

研究期間は病院長承認日から2022年6月30日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録から調査する情報としては、年齢、乳がんの組織型、病期、治療前併存症、骨粗鬆症の予防もしくは治療に用いた選択薬、治療効果、治療関連有害事象、骨折もしくは骨粗鬆症に関連した疼痛の有無等です。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

磐田市立総合病院 乳腺外科

住所：静岡県磐田市大久保 512-3

電話：0538-38-5000

研究責任者：磐田市立総合病院 乳腺外科 乳腺外科部長 伊藤 靖